

# ますはし

## 「光について証しする」

「この人は証しのために来た。光について証しをするため、

また、すべての人が彼によって信じる者となるためである。」

(ヨハネによる福音書 第1章7節・新約聖書160頁)

はじめに

クリスマスのメッセージをヨハネの福音書からお取り次ぎしています。

4つの福音書の中でヨハネは「救い主は神である」ことを強調しています。それは当時の異端思想を意識したから一因であったと思います。この「初めに」は、神が、「さあ、人間の救いを始めるぞ」という身を乗り出すようなご意思が感じられ、「言」は永遠に変わらないその姿勢を示しています。

今日はその光を証しすることについて記された部分を見ていきます。

光

おわかりのように、この箇所にある「証しをする者」はバプテスマのヨハネです。しかし、このバプテスマのヨハネのように、私たちも「証しする者」でなければならないと思うのです。それは、何よりも私たちが光を受けているからです。

もし、この神からの救いを受けているのであれば、光を浴びながら、光の中を歩ませてもらっているはずで、自分が意識せずとも、私たちは光り輝いているのです。これは救いの恵みのひとつです。「輝かなくてはならない」ではなく、「輝かせていただいている」のであり、それを疑ってはなりません。太陽の光を受ける月のように、しっかりと光を受け止めるのです。

証し

救いを受けたことで、私たちはすでに「証しする者」とされています。「証ししなきゃいけ

ない」と、肩に力を入れる必要はありません。

さて、「証しする者」は、バプテスマのヨハネがエリサベトの胎に宿った時から始まっています。エリサベトに起こった奇跡は瞬く間に広まっていきました。それはナザレにも届いたでしょう。もし、この奇跡がなければ、その後、マリアに起こった出来事は「聖霊によって身ごもった」と主張しても、姦淫の言い訳としか扱われず、死刑になっていたはずで、もし、「証しする者」がいなければ、「救い」が提示されても無視されていくことでしょう。

光を隠すな

だからこそ、私たちは受けた「光」を隠してはなりません。勇気を持ってその光を照らし続けるならば、そのことによって、救いに導かれていく者が起こされるからです。

主イエスは、「あなたがたは世の光である」(マタイ5:14)と言われました。山の上にある町、これはシオン山の頂上にあつたエルサレムを指しています。一旦、光を受けたら隠す必要はありません。そして、燭台の上に置くようにして、光り輝きながら生活をするならば、人々の前に輝き渡り、あなたがたの立派な行為、これは道徳的な行為ではなく、神を信仰する姿勢を見て、その光を求めて行くのだと教えてくださっています。私たちの喜びが大きくなれば、さらに輝きが増され、「証しする者」として用いられていくでしょう。

【礼拝説教はスマホでも視聴できます】  
右記のQRコードを読み取ってアクセスしてください。



## 今週の祈り

「一人の人が現れた。神から遣わされた者で、名をヨハネと言った。この人は証しのために来た。光について証しをするため、また、すべての人が彼によって信じる者となるためである。彼は光ではなく、光について証しをするために来た。」(ヨハネによる福音書 1:6～8)  
「あなたがたは世の光である。山の上にある町は、隠れることができない。また、灯をともして灯の下に置く者はいない。燭台の上に置く。そうすれば、家にあるすべてのものを照らすのである。そのように、あなたがたの光を人々の前に輝かせな



さい。人々が、あなたがたの立派な行いを見て、天におられるあなたがたの父を崇めるようになるためである。」(マタイによる福音書 5:14～16)

神さま、私はあなたから光をいただいている者です。しかし、それを隠すように生活していないかを問われました。自分に自信がないからです。しかし、輝かせてくださっているのは神さまです。それを信じ、これからは、光を証しする者であり、そこから救いに導かれる者が起こされるのだと、信じていきます。御名によってお祈りいたします。アーメン。

## 深読みにチャレンジ!

### 箴言 (83) 第4章11節

\*三つの違う訳を読み比べてみましょう。

◎協会共同訳 「私はあなたに知恵の道を教え、まっすぐな道のりを示した。」

◎口語訳 「わたしは知恵の道をあなたに教え、正しい道筋にあなたを導いた。」

◎新改訳 「私は知恵の道をあなたに教え、正しい道筋にあなたを導いた。」

「まっすぐな道のり」

まず、この「知恵の道」ですが、知恵に則った道ですので、「まっすぐな道のり」と同じ意味になります。父から教えてもらった、神を畏れることから始まるさまざまな知恵の言葉が、まっすぐな道のりを歩ませてくださるのです。

しかし、考えてみると、「紆余曲折」とよく言われるように、私たちは信仰を持つ前も、そして信仰を持ってからもまっすぐではなかったように思います。それなのに、まっすぐな道のりとはいったいどういうことなのでしょう。

信仰がよろよろしているから曲がってしまうのかなと考えている方がおいででしょうが、はっきり申し上げますが、主にあって歩んでいる皆さんは、「まっすぐな道のり」を歩んでおられます。

まっすぐという時、規準があるわけです。まっすぐな線は規準を使わなければ引くことはでき

### 【神からの知恵によって生きる】

箴言はソロモンが語った知恵の言葉を中心に構成されています。31章から構成されていますが、あたかも短編を読んでいるかのように、種々雑多な知恵の言葉が連なっています。ソロモンが思いつくままに語った言葉を、そのまま筆記したのではないかと思えるほどです。

この書このような性格上、まとめて解説するのが難しいため、この欄で、一つ一つの言葉をじっくり味わいたいと思います。箴言から得る知恵によって、深みのある生き方を学び、よりよい人間関係を築かせていただきたいと思います。

- 1 父から子へ・受け継がれるべき知恵 (1:1～9:18)
- 2 生活の処方箋・知っておくべき知恵 (10:1～22:16)
- 3 先人からの知恵 (22:17～31:31)
  - a 知恵ある人の言葉 (22:17～24:34)
  - b ソロモンの言葉 (25:1～29:27)
  - c アゲルの言葉 (30:1～33)
  - d レムエルの言葉 (31:1～31)

ません。定規でまっすぐかどうかを判断します。人生も同じように、自分が考えるまっすぐがあります。それは自分が描く、人生が成功に結びつくような道のりです。でも、自分が思い通りにいっても、そのことで幸せだと思わなければ、みとくれば成功していても、内容的には失敗の人生ではないでしょうか。

私たちの人生を神に委ねるならば、過去の様々な出来事も「ああ、あれがベストの道だったのだ」と気付くはずです。神の規準において「まっすぐ」に進んでいることが分かるのです。

## 聖書日課

毎朝、決められた時間に聖書を読み、お祈りをするのはクリスチャンの生命線です。この聖書日課を使って心の糧を欠かさないようにしましょう。そのために最低でも15分間を神との交わりのために聖別してください。

朝にどうしても時間のとれない方は、昼休みでも就寝前でもかまいません。ぜひ、実行してください。

### 【祈りの時の持ち方(例)】

- ①まず黙想し、次に、自分の心を神に向けるために賛美する。賛美曲を歌えない場合は、歌詞を味わう。
- ②御言葉を読み、自分へのメッセージが何かをさぐる。例えば、神の恵み、告白すべき罪、従うべき命令、ならうべき模範など。
- ③自分が神のメッセージにどうこたえるのかを祈る。感謝や信頼の表明、悔い改め、服従、献身など。
- ④自分の祈りだけでなく、できるだけ「祈禱課題」も祈る。

**【月曜日】** ◆今週のすべての集会在祝福され、救いにつながるように祈りましょう。

歴代誌上第11章19節「ダビデはその水を飲もうとしなかった。」◆ダビデはなんと不用意なことを言ったのだろう。自分に仕える者をいわずらに死なせることになるのがわからなかったのか。だが、ダビデを愛する3人の勇士は決死の覚悟で水を汲んできた。ダビデがもしそのことに気付かず、この水を飲んでいたら、おそらく高ぶり、傲慢な行為を当たり前のように続けていたかも知れない。だが彼は悔い、その献身を自分に対するではなく、神への献身として評価し、そのしるしとして水を神にささげたのである。

●賛美／80 ●祈禱課題

- ◆昨日、礼拝に集えなかった人が恵みからもれないように。
- ◆この教会も世界宣教の一拠点であることを自覚し、重荷を持って祈れるように。特に共産圏、イスラム圏伝道が進むように。迫害にある宣教師のために。現地語聖書の翻訳が進むように。異端からの救出が進むように。台湾活水泉の活動のために。

**【火曜日】** ◆教会のビジョンのため、将来の働きが祝福されるように祈りましょう。

歴代誌上第12章23節「ダビデに加勢する者が日ごとに増えて、ついに神の陣営のように大きな陣営となった。」◆ダビデは不完全な人物である。しかし、神の前に正しく歩もうとし、その通り、自分に失敗があれば即座に悔い改め、神に従順に従っていった。それこそが彼の祝福の源であった。そんな彼を神が助けられないわけがない。彼の周りには日を追うごとに有力な勇者が集まってきた。大軍だから神の軍勢のように見えたのではない。神が共にいたから、その軍勢がきよめられ、神の器として用いられていったのだ。

●賛美／81 ●祈禱課題

- ◆日本福音同盟、日本福音連盟、聖化交友会、キリスト教各出版社、EHC、ケズィック、太平洋放送協会、F E B C、キリスト者学生会、日本国際飢餓対策機構、ワールド・ビジョン、いのちの水計画、総動員伝道、Hi-b.a.、日本国際ギデオン協会(聖書配布)、新生宣教団等の働きとスタッフのため。

**【水曜日】** ◆宣教福祉事業が祝福されるように祈りましょう。

歴代誌上第13章3節「私たちの神の箱を私たちのもとに移そうではないか。サウルの時代には、これをおろそかにしたからである。」◆ダビデはイスラエル、神の民を象徴する神の箱がないがしろにされていたことに心を痛めていた。そして自分が王としてイスラエルを治めるにあたって、まずこのことに着手したのである。私たちは神に会うことをおろそかにしていないか。神を求めることをおろそかにしていないか。神に仕えることをおろそかにしていないか。ダビデのように、自分の中心に神の箱を移そうではないか。

●賛美／82 ●祈禱課題

- ◆新会堂が与えられるように祈りましょう。①バス通りに面した場所に良い土地が与えられるように②十分な資金が与えられるように③早期に建てられるように
- ◆宗教法人を取得できるように
- ◆伝道の拠点が祝福され、用いられるように。(まきば、小山宮下事務所、向陽町)

【木曜日】◆弱っている方々、病にある方々のために祈りましょう。

歴代誌上第14章11節「神は破れ出る水のように、この手によって敵を打ち破ってくださった。」◆ダビデは神への信仰を前面に出し、王として全イスラエルを治めた。周辺諸国は政権の代わり端をチャンスとみて、一斉に襲いかかってきたのだが、ダビデは「破れ出る水のように」敵を瞬く間に退かせた。これは集中豪雨による鉄砲水のこと、涸れていた川に勢いよく注ぎ込む水である。私たちは敵にやっとの思いで勝つのではなく、勝ち得て余りがある、圧倒的な勝利者となるような勝利を主によって与えられるのだ。

●賛美／83 ●祈禱課題

◆教会学校の成長と救い、青年の結婚、教会員の信仰の成長と家族の救いのため。

◆教会ビジョンのため（社会宣教事業、伝道所の開設、保養施設建設、会堂建築、納骨堂、宗教法人格取得、学生寮、高齢者住宅）、教会員から伝道者や献身者が与えられるよう、教会会計の祝福

【金曜日】◆礼拝出席平均が50名以上となり、受洗者が年間3名以上与えられるように祈りましょう。

歴代誌上第15章29節「サウルの娘ミカルは窓から見下ろし、ダビデ王が踊ったり楽しんだりしているのを見て、心の内で蔑んだ。」◆ミカルは王女である。王がどのようなふるまいをしたらよいのかもわかっていた。自分が王妃となった今、ダビデの振る舞いにそのプライドが許せなかった。ここで注目すべきは、「ダビデの妻」ではなく、「サウルの娘」と呼ばれていることである。これは世の中の誇りに執着していることを意味する。どんなにさげすまれても、主を賛美し、ほめたたえていこうではないか。この世の誉れにひかれるな。

●賛美／84 ●祈禱課題

◆この教会に聖霊の著しい働きがもたらされ、リバイバルが起こるように。常に新来会者が与えられ、求道者、受洗希望者がもたらされて、教勢が祝福されるように。

◆土屋牧師、淳子師（牧師一家）、思乃扶師、石出師の働きのために。

◆老齢の方、病の中にある方々のいやしのために。

【土曜日】◆聖日に備え、健康が保たれ、出席しやすい天候が与えられるように祈りましょう。

歴代誌上第16章37節「ダビデはアサフとその兄弟たちをその場所に、すなわち主の契約の箱の前に残し、日課のとおりに絶えずその箱の前で奉仕させた。」◆確かにアサフたちは神の前に仕える者として聖別されていた。だが、歴代の祭司やレビ人たちの中には、不誠実な者たちもいたのだ。もちろん、その者たちは祝福を失ったわけだが、私たちはそうであってはならない。神は私たちが神の御前に引き出そうとされている。その招きに応じた私たちは、そこで神の臨在に触れるのである。日々のわざとして誠実にとりなしのわざを務めていきたい。

●賛美／85 ●祈禱課題

◆子どもを含め、すべての人が礼拝を守れるように。あらゆる集会が祝福され、参加者が御言葉によって取り扱われるように。奉仕者が恵まれてご用にあたれるように。

◆ホームページが用いられるように。また礼拝動画が用いられるように。教会から出している週報や印刷物が用いられるように。

【日曜日】◆新来会者が起こされるように祈りましょう。

歴代誌上第17章4節「主はこう言われる。私の住む家を建てるのは、あなたではない。」◆ダビデは何よりも神の箱を大事にし、そして幕屋ではなく、早く神殿を建てたいと願っていたが、ナタンを通して「建ててはならない」との神の御旨が告げられた。自分の意志を貫いて建築を進めることもできた。なぜなら、ダビデのもとには多くの協力者がもたらされ、いつでも着工できるめどが立っていたからだ。だが彼は、感謝してそれを受けとめ、次世代に行われるであろう神殿建築のために全力で準備をし始める。自分の意思ではなく、従うことを選べ。

●賛美／86 ●祈禱課題

◆この教会に連なるすべての方々が聖日礼拝を厳守できるように。聖書通読を続けられるように。御言葉を味わえるように。祈りに励めるように。ささげる恵みにあずかれるように。積極的に神さまから受けた恵みを語れるように。

◆受験生、就職活動者、試練にある者のために。



# おやこでせいしよ

## ●きょうのせいしよ

【ルカによるふくいんしよ 1:46～56】

「マリアのさんび」

(ルカによるふくいんしよ 1:46～48)

ナザレにすんでいたマリアは、だいくのヨセフと けっこんをする やくそくをしていました。あるひ、そのマリアのところに てんしがあらわれて いました。

「おめでとう めぐまれたかた」。マリアは おどろきながらも、「おめでとう」とは どういう いみだろう。たんじょうびでも、おいわいする ひでも ありません。すると てんしは いました「あなたは おとこのこをうみます。そのこは おおきくなって すくいぬし となります」。

かみさまがひととなって おうまれになる そのイエスさまを うむ やくわりを あえられたのです。マリアは びっくりして ここいしました。「どうして そんな ことが おこるのですか。わたしは まだ けっこんもして いません。」

てんしは いました。「せいれいが あなたに くだり このことが げんじつになったのです。

おそれては ありません。あなたの しんせきの エリサベトの こは している でしょう。おばあさんなのに、おとこのこを おなかに やどしています。これも おなじ せいれいのはたらき なのです。かみさまが すくいぬしの わざを するための けいかくが おこなわれているのです。」

マリアは しんじ、そして、じぶんのみにおこったことを うけいれました。そして、さっそく エリサベトの ところについて、このことを つたえ、ふたりで かみさまを さんびしたのです。

「わたしは こころから かみさまを あがめ、かみさまの なされることを ほめたたえます。

この なにも えらくもない、ふつうのおんなである わたしに こころを とめてくださり、すくいぬしを うむ やくわりを あたえてくださいました。

なんぜんねんも まえから よげんされていた、せかいじゅうのひとたちを すくう すくいぬしが この おなかのなかに いることを かんしゃします」。

## ●かんがえてみよう

☆マリアのところに きた てんしは まず さいしよに なんといいましたか。(ルカ 1:28)

☆マリアは てんしに どんなことを つげられたのですか(ルカ 1:31)

☆マリアは なんといって かみさまを たたえましたか。(ルカ 1:48)



# なみむ聖書

## もじ独

あいているマスに、右の9文字のどれかを入れます。タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（それぞれ9マスあるブロックが9つあります）のどれにも9文字のいずれかがはいりませんが、文字が重なってはいけません。数独と同じ要領です。

せんに  
ごに  
かた  
られる

る		ら	た		に	ん		せ
た	ん		ら	れ		か		に
に	れ	せ	か		る	ら	た	
		た					ら	か
か		ん			れ			
				か				
		ら						ぞん
ん	に	れ		せ	ら	る		た
ぞ			れ	る	ん	に	せ	ら

ことばあそび

今週の聖書箇所の中に出てくる言葉です。それぞれを並び替えると意味が通る言葉になります。教えてください。

- ① おとこおいるな
- ② ひものくい
- ③ ひとつたえ
- ④ かめつえ

## まちがいさがし

3つあるよ!さがしてね





# 牧師の 聖書 ななめ読み

「愛が冷える」

社会学者のある論説に目がきました。

かいつまんで言うと、「昔から人々は善行をいかにするか、その規準はまちまちでも、それぞれが善を規準に生きようとしていた。けれども、それを大きく変えたのが、ヒトラーだ。かれの独裁による大殺戮は、善に向かっていった人々の心を、悪に向かわせるようにさせた。つまり、あの悪さえしなれば、自分は善なのだ、と」。

なにか独裁的な行動を取るとすぐにヒトラーにな

ぞらえるのは、その証拠だと言います。たしかに、プーチンやトランプの顔にちょびひげをかきこんだプラカードを持って抗議する人たちがいましたし、なほどと思える主張でした。同時に、主イエスが「多くの人の愛が冷える」(マタイ 24:12)と預言された言葉が、違う角度で理解できたような気がしました。つまり、そこに要因となる出来事が生じる、という預言の実現です。

もう一度その部分を読むと、「偽預言者が出現して多くの人を惑わし、不法がはびこる」、だから愛が冷えると言われているのに気がきました。惑わすとは、人間の道徳、倫理の基を転覆させるような社会現象であるとも言えます。そう解釈してもおかしくないと思いました。

## 聖書ふれあい街歩き

### ●ギルアド

アモス書 1章3節に「ダマスコの罪」が挙げられ、その一つに「ギルアドを踏みにじった」ことが指摘されています。

原文では「鉄製の脱穀機ですりつぶしたとの表現が使われているのですが、これは「無慈悲で、徹底的な破壊と虐殺の行為」を象徴しています。

ギルアドとは、ヨルダン川の東にある北イスラエル王国の領土(ルベン、ガド、マナセの半部族の相続地)なのですが、国境があるため、紛争が絶えない地域でもありました。

アモス書でも触れていますが、アラムのハザエル王とベン・ハダドがイスラエルを強襲し、多くのイスラエルの民たちをの民を殺した出来事が列王記下に記されています(13章3～)。これはイスラエルが背信を重ねたことで、起こった出来事なのですが、そのことをエリシャが預言している場面も記されています(列王記下8:12)。

ギルアドは現在のヨルダン王国の北部から中部にかけての地域で、北部にはヤベシュ・ギルアド、中央部にはラモテ・ギルアド、さらにはヤコブの取り扱いの舞台になったマハナイン、ペヌエルなどもあります。

## ななめ聖書 先週のこたえ

く	え	る	な	つ	そ	か	お	れ
れ	な	つ	え	か	お	る	く	そ
か	そ	お	る	く	れ	え	つ	な
そ	か	え	く	お	る	れ	な	つ
る	く	な	れ	え	つ	そ	か	お
つ	お	れ	そ	な	か	く	る	え
え	れ	か	お	る	な	つ	そ	く
お	つ	く	か	そ	え	な	れ	る
な	る	そ	つ	れ	く	お	え	か

- ①あけぼののひかり
- ②われらのあし
- ③せいちょう
- ④あわれみ

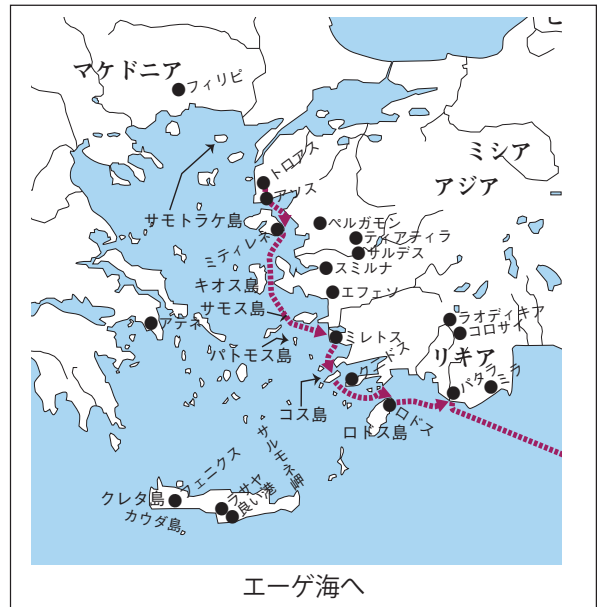


## ミレトスでの送別会

パウロは、アジア州で時を費やさないように、エフェソには寄らないで航海することに決めていたからである。できれば五旬祭にはエルサレムに着いていたかったので、旅を急いでいたのである。

パウロはミレトスからエフェソに人をやって、教会の長老たちを呼び寄せた。

長老たちが集まって来たとき、パウロはこう話した。「アジア州に足を踏み入れた最初の日以来、いつも私があなたがたのように過ごしてきたかは、よくご存じです。すなわち、謙遜の限りを尽くし、涙を流しながら、また、ユダヤ人の数々の陰謀によってこの身に降りかかって来た試練に遭いながらも、主にお仕えしてきました。役に立つことは一つ残らず、公衆の面前でも方々の家でも、あなたがたに伝え、また教えてきました。」(使徒言行録20:16~20)



## 【エフェソの人たち】

五旬祭(ペンテコステ)までにエルサレムに戻りたかったパウロは、トロアスからは船に乗ってミレトスまで行く必要がありました。これは物理的な問題です。海路ならば300km、順調ならば2~3日とされていたようです。ところが陸路は地形が入りこんでいることもあり、400km以上になり、しかも馬を使っても、2週間以上かかる距離です。しかも、道々、町があるわけですから、素通りというわけにもいかず、無駄とは言いませんが、そこでまた時間がかかります。そこでパウロは、恐らく乗り換えの中継地であったミレトスにエフェソから来てもらえば、そこで少しの時間があるから話ができると考えたのでした。

そこまでしてエフェソの人たちと話をしたかったのはなぜでしょうか。20章17~35節に記されていますので、まとめておきましょう。

まずパウロの思い入れが大きかったのだと思います。何しろパウロは「三年間、夜も昼も涙を流して教えてきた」からです。いろいろな出来事があったのでしょ。苦しみも悲しみも、そして喜びも分かち合ってきたのです。

「自分の顔をもう二度と見ることはあるまい」と言った言葉がいっそう、そのことを重くさせています。愛する同胞に対するパウロのが「遺言」を残すために、どうしても会いたかったのだということがわかります。「今生の別れ」というやつです。

その遺言の内容は、まず「私が去った後、残忍な狼どもがあなたがたのところへ入り込んで来て群れを荒らすことが分かっています。また、あなたがた自身の中からも、邪説を唱えて弟子たちを

従わせようとする者が現れます」(20:29~30)とのとんでもない預言が軸になっています。

エフェソは大都市であったが故に、福音も急速に広まっていくのですが、反面、さまざまな思想や宗教が集まってくる場所でもありました。信仰を持っている人は宗教に対し、無防備な面があり、最も異端から狙われやすいとされています。例えば、エホバの証人には元カトリック教会の信者が多いことは有名で、それは、御言葉の取り扱いがあまりないために、教理についてちょっとでも突っ込まれると、反論もできず、間違った教えとは分からずに鵜呑みにして、信仰から離れてしまうからです。

こういった心配があったため、警告し、また覚悟をするようにして、この預言を語ったのでした。

テモテへの手紙は、エフェソの指導を任せられたテモテに対する手紙なのですが、この中で、その雰囲気があったことにふれ(テモテ1:3~4)、残念ながら、実際に「ヒメナイとアレクサンドロ」が信仰を失い、邪説を唱えていた様子が指摘されています(1:20)。

そこでパウロは、最後に、教会を守り、信徒を守るようにと強い口調で、「聖霊は、神の教会の世話をさせるために、あなたがたをこの群れの監督者に任命された」と宣言し、「神がご自身の血によってご自分のものとなさった神の教会」を牧会せよと命じたのです。

そして倫理的に気をつけなければならないこと、これは十戒に関係することですが、それにふれた後、ひざまずいて祈ったのでした。短くとも濃密な時間だったに違いありません。

## キリスト教まるわかり Q&A

### ◆何もわからないのですが。

必要なものはお貸しし、一つずつお教えいたします。また信仰の強要はいたしません。

### ◆礼拝とは何ですか。

私たちの悩みは神から離れていることに原因があります。礼拝で神を賛美し、祈り、御言葉を聞くことにより、人間のあるべき姿を取り戻していく、それが礼拝です。

### ◆献金とは何ですか。

神への献身を表すもので、お布施や聴講料、会費ではありません。本人の意志に任されており、あくまでも自由です。趣旨のわからない方はなさらなくても問題ありません。

### ◆聖餐式とは何ですか。

信仰告白をし、洗礼(バプテスマ)を受けておられる方のみになりますが、主イエスと共に生きていることを確認する儀式で、聖別された

パンとぶどう液をいただきます。

### ◆信者になるにはどうしたらいいですか。

自分の意志で主イエスの福音を信じ、洗礼を受けることにより教会員(信者)と呼ばれます。

### ◆キリスト教会は様々な教派があります。

大きく分けてカトリック教会とプロテスタント教会があります。プロテスタント教会は、設立された時代や地域、歴史的な背景によって成立が違うため、多くの教派がありますが、憎み合っているのではなく、互いの特色を認め合い、助け合っています。

### ◆にせのキリスト教会がありますか。

キリスト教の枠組みからずれている教えについて、私たちは異端と呼んでいます。代表的な団体には「エホバの証人」「モルモン教会」「世界平和統一家庭連合」などがあります。特に韓国系キリスト教活動にはお気をつけください。お困りの方は牧師までご相談ください。

## 2025年教会暦・年間行事

(#はその年によって変動します)

「教会暦」はキリストの生涯をたどりながら1年を過すために作られました。当教会では教会暦に、継承されてきた伝統的記念日に加え、守っています。

### \*\*\*顕現節(1/6～#3/4)\*\*\*

降誕日(12/25)から12日後に東方の博士がキリストを礼拝した顕現日(1/6)から始まります。降誕されたキリストが世界の救い主であることを覚えて過ごします。顕現節の最終主日は受難の整えをされた変貌のできごとを覚え、変容主日(#3/2)として守ります。

### \*\*\*四旬節(#3/5～#4/12)\*\*\*

前年に使用したしゅろの枝を灰にしてかぶり悔い改めを表した儀式(この教会では行いません)、灰の水曜日(#3/5)から始まります。レントとも呼び、主日を除いた復活日前日までの40日間、キリストの受難を覚えて過ごします。

四旬節に続く受難週(#4/13～4/19)は、主イエスの最後の1週間を覚える週で、エルサレム入城に際し、しゅろの枝を用いて歓迎したしゅろの主日(#4/13)から始まり、洗足と主の晩餐が行われた木曜日(#4/17)、十字架にかかれた受難日(#4/18)と過ごしていきます。

### \*\*\*復活節(#4/20～#6/7)\*\*\*

キリストが死にかけて復活されたことを祝うイースター(復活日・#4/20)から始まります。春分の日後の最初の満月の次に来る日曜日と定められているので、祝日が毎年変動します。40日後のキリストの昇天(#5/29)を迎えたのち、復活節の最終主日(昇天主日#6/1)となります。

### \*\*\*聖霊降臨節(#6/8～#11/29)\*\*\*

復活日から50日目、聖霊が使徒たちに降ったことを記念する聖霊降臨日(ペンテコステ・#6/8)から始

まり、三位一体主日(#6/15)では父、御子、御霊の働きを告白し、過ごします。最も長い節期となります。

### \*\*\*待降節(#11/30～12/24)\*\*\*

救い主キリストの誕生を祝う備えをしながら、待ち望むアドベント(待降節)は、11月30日に一番近い主日から始まります。降誕を祝うクリスマスは12月25日ですが、クリスマス礼拝(#12/21)は、25日以前の日曜日を選んでをささげています。

### \*\*\*降誕節(12/25～1/5)\*\*\*

イエス・キリストの誕生を祝う日(12/25)から始まり、顕現日前日までの期間を指します。

### 【記念日】

母の日(5/11・5月第二)  
ウェスレー回心記念日(5/24・1738年)  
花の日(子どもの日・6/8・6月第二)  
父の日(6/15・6月第三)  
ホーリネス弾圧記念日(6/26・1942年)  
宗教改革記念日(10/31・1517年)  
収穫感謝日(11/23・11月第四)

### 【当教会行事】

新年元旦礼拝(1月1日・水)  
成人祝福礼拝(#1/14・1月第二)  
聖書愛読週間(#3/23～29)  
みふみの日(3月23日)  
教会創立記念礼拝(3月最終主日/創立記念日3/27)  
最後の晩餐集会(#4月17日夕)  
召天者記念合同礼拝(#6/1・6月第二\*今年は第一)  
弾圧記念礼拝(#6月22日・26日前後の主日)  
石出忠師記念礼拝(#7月6日・7月第一)  
敬老祝福礼拝(#9/14・9月第三)  
子ども祝福礼拝(#11/2・11月第一)  
クリスマスイブ礼拝(12月24日夕・水)

## 教会紹介

### ●歴史

私たちの教会は、ジョン・ウェスレーを源流とするメソジスト(青山学院、東北学院など)の信仰を継承しており、メソジストの教職であった中田重治が1901年に創立したホーリネス教会の信仰を受け継いでいます。2022年3月27日に創立いたしました。

### ●教義

旧新約聖書66巻を誤りない神の言と信じ、唯一の正典として信仰生活の規範にしています。また三位一体の神を信じ、イエス・キリストによる以外に救いがないことを告白しています。特色は、下記に紹介する四重の福音を強調していることです。

#### 【四重の福音】

四重の福音は、長老教会の牧師A. B. シンプソンが提唱したものを、ホーリネス教会の創設者中田重治が自らの信仰に基づいた理解を加え、福音宣教の際に掲げた教えです。

人間の幸せは神と共に生きることで実現するのですが、神を認めず生きているため、むなしく日を過ごしているのが現実です。しかし、イエス・キリストが十字架によって神と人との絆を回復してくださったのです。これが福音です。この福音を信じることで、人間は本来もっていた真の幸いを覚えながら、充実した人生を送れるのです。

中田は、聖書に書かれてあるこの福音をわかりやすく語るべく、前述の提唱にある新生、聖化、神癒(しんゆ)、再臨(さいりん)の4項目に基づいて、以下のようにまとめました。

◆**新生** キリストの十字架と復活を信じ、新しく生まれ変わる。これにより、天に住まう者のように、日々喜びが与えられる。(コリントの信徒への手紙2:5:17など)

◆**聖化** 神に属する者であるとの自覚が与えられたことで、自己中心に生きていた心が砕かれ、同時に神中心の生活を求め始め、神のきよさに近づくこと。(ガラテヤの信徒への手紙2:19～20など)

◆**神癒(しんゆ)** 肉体を持っているがゆえに弱る私たちが、神のあわれみにより、病い、そして死の恐怖にも打ち勝つ力が与えられ、苦しみから解放されること。(出エジプト記15:26など)

◆**再臨(栄化)** キリストが再び地上に来られること。その時、死んだ聖徒たちは復活し、生ける信徒は死を経験せずに天に挙げられる。(コリントの信徒への手紙1:15:51など)

## 教会の信条

さがみはら きょうかい いか しんじょう かか  
相模原ホーリネス教会は以下を信条として掲げています。

わたし  
私たちはイエス・キリストを救い主として信じています。

しゅ  
主イエスは、「神の国は近づいた。悔い改めて福音を信ぜよ」と宣言されてから約3年間、ひとびとを救い、人々にその教えとみわざを通して神の国の恵みを明らかにされ、そののち、私たちの罪を負って、十字架にかかれ、あがないを成し遂げ、神の国にはいる救いの道を開かれました。

この主イエスの救いへの招きに応じて神の国に属して生きる者となった私たちは、聖書が示しているこの時代に、使命を全うすべく、「あなたこそ生ける神の子キリストです」と信仰告白をした者たちと共に、神の国の鍵を与えられた教会の一員とされたことを覚えながら、聖霊の助けによって以下のことを宣証しつつ歩みます。

- ①キリストによる完全な救い
- ②真心からささげる礼拝
- ③キリストをかしらとした教会の交わり
- ④神の憐れみによるいやしと慰め
- ⑤信仰生活がもたらす祝福
- ⑥世界にも目を向けたとりなしの祈り
- ⑦神の愛に基づく社会への貢献

## MEMO

## 単立 相模原ホーリネス教会

創立 2022年3月27日

主任牧師 土屋 和彦 牧師 石出 佳代子 牧師 土屋 淳子

252-0205 相模原市中央区小山 3-31-3

TEL&FAX 042(772)8910 e-mail church@bethels.info

ホームページ <http://www.bethels.info/>

